

議 事 概 要

- 1 会議の名称
令和6年度第1回長久手市中央図書館運営協議会
- 2 開催の日時
令和6年7月9日（火） 午後2時から3時30分まで
- 3 開催場所
長久手市中央図書館 2階 AVルーム
- 4 出席者

（委員長）	伊藤 真理
（副委員長）	吉田 真理子
（委員）	堀場 哲明
	板倉 純子
	吉村 直彦
	（事務局）
教育部部長	山端 剛史
中央図書館長	二之部 香奈子
図書係長	水野 香織
同係専門員	曾我 竜彦
- 5 欠席者
加藤 広也
- 6 会議の公開・非公開
公開
- 7 傍聴者
1人
- 8 審議の概要
委員の委嘱及び委員長、副委員長の選出
報告事項
(1) 令和5年度事業報告
 - ア 利用状況
 - イ 第3次長久手市子ども読書活動推進計画

令和5年度進捗状況・令和6年度目標値一覧

ウ 令和6年度中央図書館の主要委託状況

(2) その他

9 問合先

長久手市教育委員会 中央図書館

TEL 0561-63-8006

議 事 録

事務局 会議成立確認

教育部長 あいさつ

委員 委員自己紹介

<委員の委嘱及び委員長、副委員長の選出>

事務局 それでは、長久手市中央図書館運営協議会要綱第4条による委員長と副委員長の選出を行いたいと思います。委員の互選により、まず委員長を推薦いただくことになっていきますがいかがでしょうか。

委員 伊藤委員を推薦したいと思います。

事務局 伊藤委員が委員長ということでいかがでしょうか。

委員 委員拍手

事務局 ありがとうございます。では、副委員長は委員長から指名をお願いします。

委員長 ただいま委員長に就任致しましたが、要綱に従いまして、副委員長には吉田委員をお願いしたいと思います。

委員 委員拍手

事務局 議事の進行については、委員長をお願いします。
それでは、議事に入る前に、委員長挨拶をお願いします。

委員長 あいさつ

事務局 それでは、議事進行の方をお願いします。

<報告事項>

- 委員 年齢別入館者数は統計が取られていたのか。
- 委員長 来館者にアンケートをとるか、目視で確認するしかない。現段階では、滞在してどのように図書館を使っているかがわからない。貸出に結びついていない。図書館のサービス展開の意義を求める必要がある。新たに委託業務が開始されたので、サービス向上が問われている。
- 委員 前年度実績として、今回紙1枚の集計だが、もう一枚追加し集計を取ればと思う。
- 事務局 委託職員で来館者アンケートを取ることは決まっています。どういった目的で来館されたかという内容を盛り込みます。
- 委員 一番知りたいところがファジーである。来館者が何をしているかはなかなか分からない。
- 委員 文化の家だと色々な行事が多彩に行われているので、年齢層別も分かる。結局、利用状況に伴って課題を見つけている。委託化し非常に大きなお金を支出しているのであれば、来館者が何をしているかも出すべきである。
- 委員長 様々なツールがあり、委託事業者も実績があるので検討してください。
- 事務局 **【資料2を事務局から説明】**
- 委員長 何かご質問などはありますか。
- 委員 1-1 乳幼児期からの読書活動の支援が達成率118%となっているが、令和6年度の目標値が出生数の90%としていて非常に分かりやすい。
2-2 館内におすすめ本紹介文（POP）掲示で愛知淑徳大学生がPOPを作ったとあるが、司書課程の学生か。
- 委員長 子ども福祉学科です。幼稚園教諭を養成する学科があります。長久手市共生ステーションで読み聞かせをやらせてもらっています。
- 委員 4-1 中央図書館から保育園・幼稚園への図書貸出だが、令和5年度目標値で4園、実績で6園とあるが、もっと多くの保育園・幼稚園があるのではないのか。これだけしか募集がなかったのか。

- 事務局 図書館のキャパシティの問題です。現在は保育園6園に留まっています。
- 委員 1-2 中高生向けの図書の充実、読書環境づくりだが、令和5年度目標値6,300冊に対し実績7,614冊で、令和6年度目標値が実績よりも低い7,000冊となっていておかしくないか。
- 事務局 7,000冊の目標値を設定した3月の段階では、実績が7,000冊前後でその後実績が増えたのでこのような結果になりました。
2-1 読書手帳の普及、2-2 各施設で読み聞かせイベントなどの実施も、令和6年度目標値が令和5年度実績よりも低くなっていますが、同様の理由です。貸出冊数も増えているので令和6年度からサービスを拡大した1年間の様子を見て、令和7年度の目標値も検討します。
- 委員 いちにちおはなし会を行っているが、来てもらうお子さんが少ない状況です。集客を増やし充実したものにするための意見を伺いたい。
- 事務局 コロナ禍時にはおはなし会を開催できませんでした。令和4年度、コロナ禍後に読み聞かせの団体が増えています。いちにちおはなし会のやり方についてはボランティアと協議していきたいと思います。
- 委員 子どもは集中力が短い。待っている時間にも目先を変えるとよい。待っている時間に、折り紙をやったりしおりを作ってみるとよい。紙芝居はとてもよい。小牧長久手の戦いの紙芝居は劇画本と違いよいと思う。
- 委員長 いちにちおはなし会は一日いるのか。子どもたちは何歳くらいか。
- 事務局 子どもたちは都合のよい時間に入ってもらおう。幼稚園、保育園児が多い。
- 委員長 読み聞かせは中学生になっても大事である。中高生向けや大人向けの読み聞かせを考えてもよいと思う。
- 委員 肉声の影響は大きい。情報は聞いて受け取ることが大きい。
- 事務局 【資料3を事務局から説明】
- 委員長 何かご質問などはありますか。

委員 大学時代の卒論テーマが「泣いた赤鬼」だった。「泣いた赤鬼」の竹下景子さんの読み聞かせが大変印象に残っている。高齢化のための読書利用も必要である。斎藤孝先生が書かれた「声に出してみたい日本語」もすごく楽しい。

委員 読み聞かせをする側が孫たちに伝えることで活性化することが必要である。お年寄りの活用方法も検討すべきである。

事務局 ボランティアグループ「吾亦紅」が大人のおはなし会を開催しています。月1回、定期的に朗読していただいています。
市の根幹となる業務を市職員でしっかり担い、委託業者とも連携を取りながらよりよくなるように進めていくことができればと思います。

事務局 大人向けの読み聞かせなどのイベント実施について、とてもよいお話を伺いましたので、実施に向けて検討（協議）を進めていきたいと思っています。

委員 施設の維持管理も委託しているが、今まではどうしていたのか。

事務局 契約を一本化しておらず、全ての保守も含めてそれぞれ契約をしていました。

委員 空調だが修繕費の予算がどこまで入っているのか。

事務局 建物設備一括で契約していますが、修繕は別となります。

委員 委託料だが非常に多額である。おはなし会で委託職員が行うことは考えているのか。

事務局 委託職員の読み聞かせも入れていきたいと考えています。

委員長 長久手市中央図書館のよいところはボランティアがすごく育っているところです。窓口業務を委託化したことにより図書館主催行事との棲み分けを考えていかないとはいけません。

委員長 それでは、4のその他ですが、事務局から何かありますか。

事務局 ありません。
第2回の会議は令和7年2月頃を予定しております。

委員長

それでは、これをもちまして第1回中央図書館運営協議会を終了します。ありがとうございました。